

## 有害大気汚染物質等の詳細調査結果について

県では、大気汚染防止法に基づき有害大気汚染物質の環境調査を実施しているが、玉野市内において、測定項目の一つである「ヒ素及びその化合物」の濃度について、指針値を超える値が観測されていたことから、詳細な調査を実施した。

### 1 経緯

- ・大気汚染防止法の改正により、平成9年度から県内の有害大気汚染物質の環境調査を岡山市及び倉敷市とともに実施している。
- ・玉野市内については、平成12年度から測定を開始したが、平成16年度から「ヒ素及びその化合物」について比較的高い値が観測されるようになり、主な発生源と考えられる排出事業者に対して対策を講じるよう指導した。
- ・平成22年10月に指針値が示されたことからヒ素と関連のある計8物質について詳細調査を実施した。（なお、平成22年度は国の調査を受託して実施したものである。）

### 2 調査結果（各測定結果の平均値：ng/m<sup>3</sup>）

		①日比市民センター	②宇野港管理事務所	③渋川大気測定局	④向日比1丁目大気測定局	⑤玉野市総合体育館	⑥向日比2丁目大気測定局	指針値※
測定回数	H22年度	2	2	2	2			
	H23年度		3	3		3	3	
	H24年度		4	4		4	4	
測定結果	クロム	4.5	3.2	3.8	2.8	3.2	4.7	未設定
	マンガン	91.0	52.8	61.8	82.5	70.3	73.5	未設定
	ニッケル	7.8	5.4	9.7	7.5	4.7	9.9	25
	銅	87.0	25.8	123.1	101.5	49.1	475.2	未設定
	亜鉛	190.0	108.2	137.9	185.0	188.2	138.2	未設定
	ヒ素	14.9	6.2	19.2	19.4	6.7	36.8	6
	カドミウム	7.5	2.6	4.6	6.9	1.8	5.9	未設定
	鉛	47.5	28.6	41.9	53.0	26.0	46.1	未設定

※指針値：環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針で年12回の平均値を用いて評価する。

### 3 今後の対応

主な発生源と考えられる排出事業者に対してさらなる排出抑制対策を講じるよう指導を行うとともに、引き続き詳細調査を実施する。

## 有害大気汚染物質等の詳細調査地点図

